

# 大崎町で初の快挙!

ふるさとCM大賞とは?

テーマは『情熱』  
パッション

『KKBふるさとCM大賞』とは鹿児島県内の各市町村が、ふるさと自慢や魅力を伝えるCMを制作し、審査員によってグランプリ他各賞を決めるイベントです。グランプリに輝くと、制作したCMがKKBでのみ、100本放送されます。市町村にとって非常にPR効果が高いイベントとなっております。今回は県内31市町村が出品しました。

制作するCMは、企画・制作・撮影・出演等のすべてが各市町村の担当者、もしくはは地域住民に委ねられ、それぞれの市町村の魅力をテーマにした30秒のCMを制作します。

2002年から始まった、『KKBふるさとCM大賞』も今回で17回目の開催となりました。本町は、17回全てにCMを制作し出品しています。

今回のCMは、大崎町の特産品であるパッションフルーツの認知度拡大を狙い、本町のパッションフルーツ農家である中崎さんに密着し、ドキュメンタリータッチで制作しました。中崎さんの『パッション』フルーツに懸ける『情熱』を、焼酎のパッションフルーツ割り『パッション焼酎』で表現しています。

撮影・編集は、地域おこし協力隊の山本創太さんが主となりおこないました。山本さんは本町に勤務して以降、継続してふるさとCM制作に携わっています。

審査会では、前田康仁審査委員長から『中崎さんの演技がとにかく素晴らしい』と評価をいただき、大崎町で初となるグランプリを獲得することができました。CMは12月下旬からテレビ放送されますので、ぜひご覧ください。

審査会では、前田康仁審査委員長から『中崎さんの演技がとにかく素晴らしい』と評価をいただき、大崎町で初となるグランプリを獲得することができました。CMは12月下旬からテレビ放送されますので、ぜひご覧ください。



## KKBふるさとCM大賞2018

# グランプリを獲得

テーマは『情熱』  
パッション  
30秒に込めた、ふるさとの魅力



▲撮影時の様子

三度目の正直でした  
今回は、今までの経験を活かしテーマを絞って制作することにしました。大崎町の特産品であるパッションフルーツ割りを見かける機会があり、これだ!と思い、CMのテーマに決めました。  
撮影では、中崎さんに何度も焼酎を飲んでもらったり、勢いよく『じょうねつ!』と声を出していただいたり、たくさんのご協力をいただきました。

## Interview



### Profile

山本 創太 さん(25歳)

横町集落在住。  
平成28年から本町の地域おこし協力隊として勤務。旧大崎幼稚園園舎を活用した『O-en』を展開している。  
趣味は釣り。

また、役場有志の方々にも多くの協力をいただきました。最後に、三度目の正直でグランプリを受賞できて本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。  
中崎さんはもちろんのこと、役場の方々、そして今まで協力していただいた皆様に深く感謝しています。  
大崎町の魅力が詰まった作品なのでたくさんの方に見てほしいと思います。